

# 10月は食品ロス 削減月間

# 10月30日は食品ロス 削減の日

日本では、本来食べられるのに捨てられてしまう食品（＝食品ロス）が、年間472万t（毎日10tトラック約1,290台分を破棄）発生しています。

※農林水産省・環境省「令和4年度推計」

これを国民1人当たりで換算すると、毎日ご飯茶碗1杯分（約103g）を捨てている計算です。



## ○郡上市の食品ロスの現状（令和4年度組成調査）

1. 可燃ごみに含まれる生ごみの割合＝約40%
2. 食品ロス発生量（家庭系＋事業系）＝約1,253t／年  
毎日、市指定ごみ袋（大）90袋に相当する量が可燃ごみとして処理されています。
3. 食品ロス（家庭系のみ）の内容
  - ①調理くず（78%） 野菜や果物の皮、芯、卵の殻、魚や鳥の骨など
  - ②直接廃棄（13%） 手つかずの食品（賞味・消費期限切れなど）
  - ③食べ残し（5%）

大量の食品ロスが発生すると、ごみ処理に多額の費用がかかるうえ、燃やして処理することで二酸化炭素を排出し環境に負荷を与えることにつながります。

※「生ごみ」には大量の「水」が含まれています。郡上クリーンセンターで「水」を燃やさないよう、捨てる前に「ひとしぼり」してください。



## 食品ロスを発生させない工夫を！

環境省のホームページでは、食材の傷みにくい保存方法や、料理研究家リュウジさんとのコラボ動画「食ロスゼロレシピ」を紹介しています。また、料理レシピサイト「クックパッド」でも、「消費者庁のキッチン」において、食材を無駄にしないレシピを紹介しています。ぜひご活用ください。



食品ロス  
ポータルサイト

外食時には、注文しすぎないよう意識して、美味しく食べきることで食品ロスを減らせます。「郡上もったいないプロジェクト」の登録店で食べきりポイントを貯めると、郡上市オリジナルマイバッグをプレゼントします！



郡上もったいない  
プロジェクト

## 食品ロスをごみにしない工夫を！

食品ロスを含む生ごみは、コンポストや生ごみ処理機で堆肥化・減量化できます！

生ごみ処理機等の設置費用に対する補助がありますので、ぜひご活用ください。



生ごみ処理機  
補助金

☎ 環境水道部環境課 67-1833